

第730回 新潟医学会次第

第730回新潟医学会を下記の要領によって開催致しますので何卒多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成30年4月21日(土)午後2時から
会場 新潟大学医学部 有壬記念館

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (午後2時～2時30分) 座長 曾根 博仁 先生 (血液・内分泌・代謝内科学 教授)

「動物モデルを用いた、心疾患・非アルコール性脂肪肝炎・アトピー性皮膚炎の研究」

渡邊 賢一 先生 (生活習慣病予防検査医学 特任教授)

我々大学教員は教育者+研究者であり遺伝子異常・炎症・酸化ストレス・大腸内細菌叢など多くのことに興味を抱いてはいるものの、研究範囲は時間的・金銭的制約などがあり狭くせざるを得ません。指導した海外留学生はエジプト・シリア・インド・イランなど計21名になります。その中の、動物モデルを用いた心疾患(糖尿病性心筋症など)・非アルコール性脂肪肝炎(NASH)・アトピー性皮膚炎のメカニズム解明と薬物治療を紹介します。

II. 特別講演 (午後2時30分～3時) 座長 福田 智行 先生 (機能制御学 准教授)

「ミトコンドリアオートファジーの分子機構」

神吉 智丈 先生 (機能制御学 教授)

ミトコンドリアオートファジー(マイトファジー)は、オートファジーが選択的にミトコンドリアを分解する機構であり、ミトコンドリアの量と品質を管理していると考えられている。出芽酵母では、ミトコンドリア外膜タンパク質Atg32のリン酸化がマイトファジーの引き金となるが、その制御機構は不明な点が多い。我々は、Atg32リン酸化を抑制するホスファターゼを見いだしたので、その知見も含めてマイトファジーの分子機構を概説する。

III. シンポジウム (午後3時～5時) 司会 高塚 尚和 先生 (法医学 教授)

「新潟県における死因究明・身元確認等の現状と課題 —死因究明教育センターが果たす役割—」

新潟県地方検察庁、新潟県警察本部、第九管区海上保安本部、新潟市消防局、新潟県医師会及び新潟県歯科医師会の各機関から死因究明等の現状と課題等をご紹介頂き、死因究明教育センターが果たす役割について討論したい。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大学院特別講義

大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎致します。参加料は無料、事前申込の必要はございません。自由に御参加下さい。
当日は医学部職員駐車場のゲートが開いておりますので、ご利用下さい。